

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 三条区

日 時 平成 21 年 4 月 22 日(水) 19:00 ~ 20:25

場 所 三条公民館

出席者 (市 民) 20 人

(執行部) 14 人

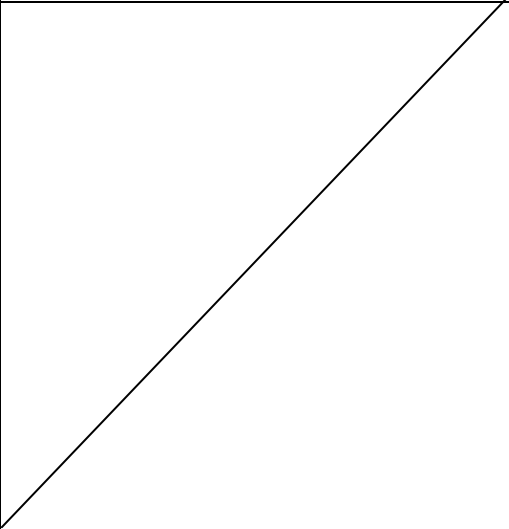
井上市長、平島副市長、木村総務部長、三笠協働のまち推進担当部長、松田市民生活部長、新納建設経済部長、宮原上下水道部長併会計管理者、山田教育部長、松島議会事務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、齋藤広聴広報係長、高原主任主査、諫山協働のまち推進課長、藤田地域コミュニティ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ(経営企画課長) 19:00 ~
- 2 区自治会長あいさつ(区自治会長) 19:02 ~
- 3 市長あいさつ(市長) 19:03 ~
- 4 市職員自己紹介(経営企画課長) 19:11 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:15 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長) 19:32 ~
(別紙)
- 7 閉会あいさつ(副市長) 20:23 ~ 20:25

	発言の主旨	回答
意見 1	校区単位での協議会とのことであるが、太宰府小校区は 10 として少ないところは 3～4 など所属する行政区の数に大小がある。	(市長) ご指摘のとおり、太宰府小学校区は北谷から五条まであります。今後の 1 年間の準備期間の中で、臨機応変に対応し、考慮の余地があると思います。北谷、内山のまちづくり、門前町のまちづくりなど同じ所、違う所がありますので、今後協議したいと思います。
意見 2	配布資料の中に、平成 21 年度の新規事業として「介護予防プロジェクト」とあるが、これは具体的にどのような事業なのか。	(市長) 太宰府市は高齢化率が高く、一人世帯が非常に多い状況です。地域力を高める活動の表れとして、自治会でも「見守り活動」があります。これらを後方支援していきたいと考えます。また今年包括支援センターを直営化しました。より質の高い支援と信頼関係を構築していきたいと思います。 【画面説明】 福祉でまちづくり事業
	九州大学健康科学センターとの連携によりと書いてある。久山町の住民の健康データが九州大学に送付され調査がなされていると聞いた。「調査研究」と書いてあるので太宰府市においてもそのようなことを行うのか。	(副市長) これは、九州大学の先生と連携して、太宰府の介護予防のサンプルを実際に見て頂き、太宰府にあった介護の方針づくりを行うものです。実際に即した介護予防ができるように、また制度が必要ならば市もそれに併せて制度設計を行うものです。
意見 3	県の河川であるが、御笠川の川浚えをしてもらいたい。また、川底が減っているので、犬走りを設けるなど補強してほしい。大水の時など、余裕を持って流れるような構造にしてもらいたい。そうすれば、川の中も人が通行で	(市長) 那珂土木事務所の管轄ですが、太宰府市の考え方を那珂土木事務所に伝える必要があります。平成 15 年の災害で、御笠川本体は、拡幅工事も完了し、想定範囲内では、御笠川が再び氾濫す

	<p>きるし、川浚えするときも重機が入ることができるようになる。</p>	<p>ることはないだろうと思っています。支線についても、同様に川底が浅くなっているところがあります。将来的には、小鳥居小路線については、グレーチングのような形で開溝し、浸水性のある水路を整備したいと考えています。川についても、市としての考えをまとめ、県への要望を上げていきたいと思っています。</p>
<p>意見 4</p>	<p>太宰府は観光で成り立っている。リピート客が必要である。そのためにトイレは大事であるが、政庁跡に向かって左側のトイレで、悪臭が発生しており、今年の夏はハエ・蚊が発生していた。観光客の印象が悪いのでは。</p> <p>いきいき情報センターのトイレに「使用后消灯」の張り紙がある。中に入っている人がいることに気が付かず、3年前電気を消されて真っ暗になったことがある。受付に苦情を言ったが、張り紙だけ剥がしてあったが、聞き流しなのか、ほったらかしなのかそのままになっていた。</p>	<p>(市長)</p> <p>今のご意見は貴重だと思います。歴史遺産が数多く存在し、それを媒体としての観光のまちであります。市民意識調査やアンケート調査などでも一番のもてなしは「トイレ」とされています。観光客の苦情が多い点でもあります。平成 21 年度予算の中でも、改修の予算を計上しています。これにより、臭いも解決するのではと思っております。</p> <p>情報センターのトイレも消灯を促しておりますが、中に入ってあるのに消すのは問題ですので、今後そのようなことがないように改善を促したいと思います。</p>
		<p>(市長)</p> <p>【画面説明】</p> <p>起債残高の推移 起債残高 38 億円減 平成 17 年度市債残高 24,731 百万円 平成 18 年度市債残高 23,816 百万円 915 百万円 平成 19 年度市債残高 21,960 百万円 1,856 百万円 平成 20 年度末市債残高 20,873 百万円 1,087 百万円 史跡地の買上げ累計 45 億 (95%補</p>

		<p>助)</p> <p>歳出決算 平成 15 年災害 (想定外)</p> <p>経常収支比率の推移</p> <p>(上下水道部長)</p> <p>今の起債の説明に、公共下水道は含まれておりません。下水道の借金は、現在約 140 億で毎年減ってきております。水道事業も 18 億円で、筑紫地区でも極端に少ない数字です。下水道は殆んどが国の借金で行っています。</p>
意見 5	<p>三条には盲人学校がある。そこの生徒さんが、セブンイレブンまで買い物に行く途中、白線は引いてあるが、点字ブロックが途切れているため、転倒する人もいて、危険である。</p>	<p>(市長)</p> <p>明日現場を見て対処します。</p> <p>(経営企画課長)</p> <p>自治会長さんに連絡します。</p>
意見 6	<p>先程、史跡地の買い上げの説明があったが、その維持費は市の赤字にならないのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>買上げた後は、県から 450 万円ほど補助があるもの以外は、市の負担となります。行政課題でもあるため、文化庁の方に管理に対する補助を要望しています。</p>
意見 7	<p>家の脇に史跡の碑のようなものがあるが、ずれて庭に落ちそうになっている。修理できないか。</p> <p>原ダムの工事が残り 6 カ月程かかる。ダンプが通り、側溝が損傷しているが、那珂土木が施工を聞いたが、工事終了後、誰が補修するのか。</p> <p>近所の人から聞いたが、家を建て直す場合、発掘費用は原因者負担か。</p>	<p>(市長)</p> <p>ご指摘の箇所は、狭いという印象は持っています。地域の方の意見をもとにやっていく必要があると思います。試掘、本堀については、時間はかかりますが、原因者負担ということはありません。</p> <p>【画面説明】</p> <p>登山道の整備</p> <p>(副市長)</p> <p>大きなダンプが通ることにより、生活道路としての側溝の蓋が壊れることとなります。原因者が判っていますので、那珂土木の方に補修を依頼します。一部手直しが必要であれば、市としても</p>

		対処します。
意見 8	朝近様の下の所。現在は、工事車両は通行していないが、以前通過していたために、側溝の蓋が傷んでガタガタ音がする箇所がある。それも併せて宜しくお願いします。	(市長) 分かりました。
意見 9	太宰府に住んで 70 数年になる。「大宰府」が「太宰府」に変わったルーツを何度役場の時代から尋ねても返事がない。「大宰府」はいつから「太宰府」と表記されるようになったのか。	(市長) 歴史的なものを言う場合、例えば「大宰府政庁跡」を言う場合は「大宰府」を用います。それ以外で地名を言う場合とかは「太宰府」を用います。 (総務部長) 観光課長時代に、文化財課に聞いたところによりますと、昔の文献は両方出てきます。昔の人はそこまで拘っていなかったので、気にしなくてよいとのことでした。 (市長) 歴史的なものをいう場合は「大宰府」を用いることは、市史の中でも触れておりますので、知っておいていただいで結構だと思います。